

緑のセンターだより

NO. 219 平成 29 年 6 月 1 日発行

発行元：(公財) 札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

ハグマノキ (白熊の木)

ハグマノキ (白熊の木) の和名の由来は、羽毛状となった花序の姿が偶蹄目ウシ科のヤクの尻尾の白毛 (白熊) で作る仏具の払子 (ほっす) に似ていることからといわれています。別名をカスミノキ (霞の木)、ケムリノキ (煙の木) ともいい、今では、英名のスモークツリー (smoke tree) がよく知られるようになりました。

原産地は南ヨーロッパからヒマラヤ、中国南部にかけた広い範囲に分布しています。樹高は 4~5m に達し、耐寒性落葉低木または小高木になります。わが国へは明治時代の初期に渡来したと言われています。

初夏の 6 月~7 月に花径 3mm ほどの小さな淡緑色の花を円錐状に咲かせますが、あまり目立ちません。花が咲き進むにつれて淡緑色から紫色を帯びてきます。花後に雌株は不稔花 (タネを結ばない花) の軸部分である花柄が長く伸びて羽毛のようになり、見た目がモフモフとした感じの花穂になります。これをヤクの尻尾や煙、霞に例えてこの様な名になりました。雄株と雌株が別の雌雄異株の樹木で、雄株は残念ながら煙状にはなりません。一般的に家庭や公園で植栽されている園芸種は、鑑賞価値の高い雌株になります。

葉は卵形または倒卵形で長さ 4~8 cm で、表面が暗緑色、裏面は灰緑色で無毛です。園芸品種では葉は緑葉の他、赤紫や黄色っぽい葉の品種もあります。寒冷地では非常に美しく紅葉しますが、春の出芽は他の樹種よりやや遅くなります。樹形はやや不整形になり、まとめるには剪定が必要です。

ハグマノキの用途は、観賞用の庭木や鉢花、切り花、ドライフラワーの他、天皇の位袍 (いほう) など染める材料にも利用されていたそうです。

最近は花色や葉色違いの改良品種が多く出回り、背丈も低く、花つきのよい矮性品種が作られています。代表的な園芸品種としては次のような品種がよく知られています。

ロイヤル・パープル：新芽の濃い赤紫の葉色の美しさが特徴。ピンクの花は付きが少なめ。

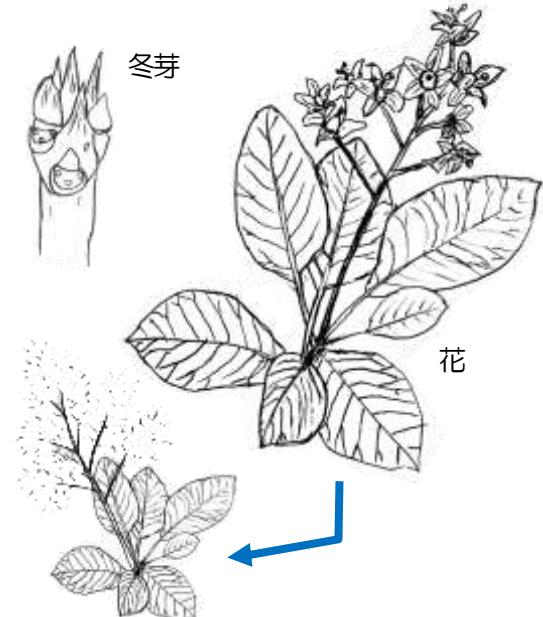
ゴールデンスピリット：花色はピンク、葉色が美しいライムグリーン。

ヤングレディ：矮性品種で、樹高の低いうちから花付きが良く、ピンクの花。

ハグマノキ属の仲間としては、北アメリカ南部にコティヌス・オボヴァツス (*C. obovatus*) が分布し、こちらも観賞用に栽培されています。

(N. K)

ウルシ科コティヌス属
Cotinus coggygria Scop



<参考文献> 「園芸植物大事典」小学館、朝日百科「世界の植物」朝日新聞、

週刊朝日百科「植物の世界」朝日新聞、「最新園芸大辞典」誠文堂新光社、

「日本花名鑑」アボック社、「ガーデン植物大図鑑」講談社「カラーリーフ」農文協

6月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜

☆百合が原公園 772-3511 木曜、日曜(百合が原公園の
相談は改修工事のため 6/19 よりお休みとなります)

◆トマトとキュウリの整枝

トマト、キュウリの植え付けが終わり、これからは急速に成長する時期になりました。成長とともに腋芽が次から次へと出てきて、芽欠きが遅れると、どんどん枝分かれてしまい、込み入って手が付けられなくなります。良い物を穫るために適切な整枝を行ってください。

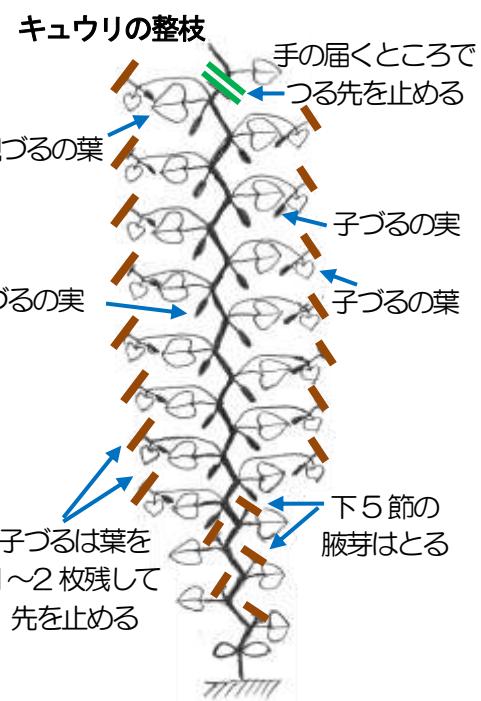
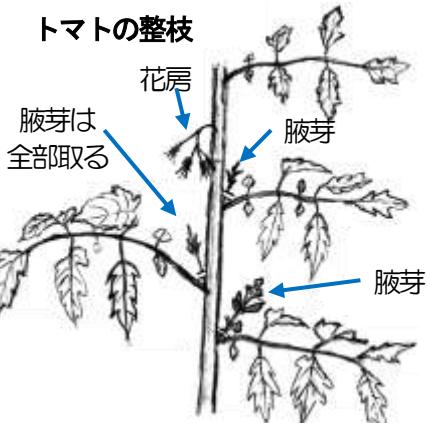
トマトの整枝

- 腋芽を放置すると養分が茎葉の成長に使われ果実の成りが悪くなり、味も落ちてしまいます。茎葉の生長と実の生長のバランスがとれるように、基本的に主枝1本にし、日照が十分にあたる、風通しの良い環境にします。
- 茎と葉の付け根から出る腋芽は小さいうちに全部欠き取ります。芽欠きはハサミで切るよりも、指で摘まんで取る方がウイルス病に罹りにくくなります。
- 雨上がりに整枝を行う場合は、トマトについた水滴が乾いてから行って下さい。
- 下の葉が黄色みを帯びてきたら、葉をとり風通しを良くすると病気の予防になります。
- トマトは下の花房から「1段、2段、3段・・・」と数えますが、北海道の気候では露地植えにすると大玉種で5段、中玉・小玉種は6段で収穫が終わりを迎ってしまいます。8月上旬に大玉で5段、中玉・小玉で6段の花が咲いたら、その上は葉を3枚残して芯を摘んで止めてしまいます。

一言話：トマトから50cmほど離してバジルを植えると臭いで害虫が少なくなります。バジルは適時収穫して活用して下さい。

キュウリの整枝

- 基本的に親づる1本に仕立てます。
- 数株を植える時の間（株間）は45~60cmほど空け、子づるから出る1~2枚分の葉が伸びられるスペースを作ります。
- 葉の付け根から出る腋芽は、最初の葉から5枚までに出る子づる・花芽は全部摘み取り、株元の風通しが良くなるようにします。
- このときキュウリに元気が感じられない時は、6枚目の葉の付け根から出る腋芽も欠いてやります。
- 伸ばす子づるも葉を1~2枚残して先を摘みます。
- 親づるは手の届かなくなる高さで先端の芽を摘み、芯を止めます。
- 親づるにつく実が先端までいって着くところが無くなると、子づるの葉1~2枚残した葉の付け根に、また、実がつくようになります。
- 実を沢山つけたり、収穫が遅れると株が弱り、その後の実は曲がったり、奇形になりますので、一度に沢山の実をつけすぎないように注意して下さい。

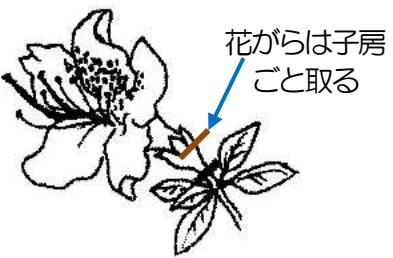


◆庭植え花木の花後の管理

春から初夏にかけて咲いた庭に植えてある花木の花が終わった後、花がらをそのままにしていては、美観を損ねるだけではなく、病気の原因となることがあります。また、来年の花芽にも影響が出ますので手入れをしましょう。

花がら摘み

種子の結実によって、養分が種子の方に取られ、翌年の花の大きさや花数に大きく影響します。花がらは花が終わり次第、子房ごと取り除きましょう。



花後の剪定

花木は樹種によって花芽ができる時期（花芽分化期）が決まっています。春に咲く花木の多くは6月中旬～8月頃から花芽分化が始まります。花芽分化期までに伸びが止まって充実した枝になっていくことが重要ですので、花後、速やかに剪定をしましょう。花芽がついてからの剪定は花芽を切り落としてしまい、翌年花が咲かないことがあります。樹種によっては、花芽と葉芽の区別できる時期になってから剪定したほうが良いものもあるので、樹種にあわせた剪定が必要です。

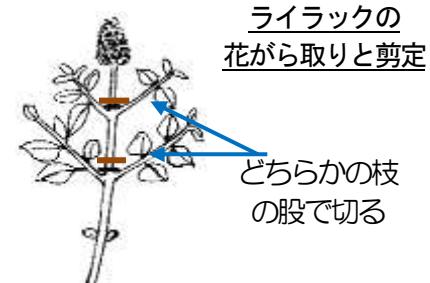
(1)ツツジ・シャクナゲ類

花後、花がら取りと、剪定はすぐ行います。花のすぐ下から数本の新稍が輪状に伸びるので、樹勢に応じて適正な枝数にします。枝数を増やしたいときは、2年枝を切り戻して不定芽を発生させます。ツツジ類は8月以降切り詰めると花芽を切り取ってしまうことになります。

シャクナゲはツツジ同様の花芽の付き方をしますが、萌芽力が弱いので、芽の付いていない古枝の中間で切ると不定芽が発生せず、残った部分は枯れことが多いです。枝を切り詰めたいときは脇芽の上で切り戻します。込み合っている枝や、高くなりすぎた枝は、枝元で切除します。エゾムラサキツツジはシャクナゲに近い性質があるので、剪定の際は注意しましょう。

(2)ライラック

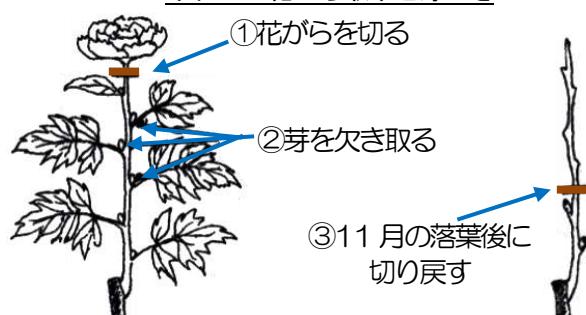
花後すぐ花がら取りを兼ねて切り戻しをします。花がらから1～2節ほど下のV字状の枝の股で切ります。大きくなってしまった老木は花つきが悪くなり、樹高も高くなるので、その場合は、落葉期に株元から思い切って切り取り、低くて丈夫なひこばえに更新することで低く作り直せます。株元のひこばえは4～5本残してその他は整理しておきます。



(3)ボタン

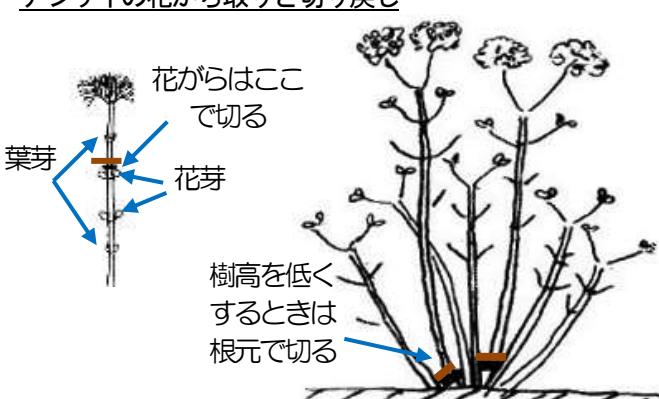
花後、花がらを切り取ります。花芽は上部の2～3節につく性質があります。当年枝の下の方の2～3芽を残して、それより上の芽を欠き取ると、残された芽が花芽となり、樹高を抑えることができます。

ボタンの花がら取りと芽かき



今の季節に成長し、花を咲かせる植物の中でも剪定の時期に注意が必要な植物があります。いくつか例を挙げてみましょう。

●アジサイは、花がらは花後に花首のすぐ下で早めに切除します。花芽分化は10月上旬頃ですから、冬囲い時か春先の冬囲いを外すときに膨らんだ花芽を確認しながら花芽の上で切ります。樹高を低くするには、このときに高くなつた枝のみを株元から切除します。また、弱枝は新芽が伸張する前に取り除きます。





6月～7月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
現代押し花アート展	6月20日(火)～6月25日(日)		日本レミコ押し花学院	入場無料
エアープランツ展～奇妙な植物たち～	6月27日(火)～7月2日(日)			〃
園芸教室・自然教室				
夏の観察会	6月24日(土)	10:00～	6/11(日)～	100円
洋ランの栽培について	7月1日(土)	13:30～	〃	無料
秋野菜の種まきと管理	7月5日(水)	13:30～	〃	〃
果樹などの夏の病害虫防除	7月12日(水)	13:30～	〃	〃
シリーズ講座				
【盆栽講座】②夏の盆栽の管理	6月27日(火)	13:30～	6/11(日)～	1,500円
【やさしい宿根草講座】③開花リレーと花切り	7月8日(土)	〃	〃	100円
クラフト教室				
あけびのプランター	6月28日(水)	10:00～	6/11(日)～	2,300円

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL011-772-4722 <http://yuri-park.jp/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・ガイド				
バラの花後管理	6月18日(日)	13:30～	6/11(日)～	130円
お散歩ガイド	6月17日～7月8日(毎週土開催)	13:00～	直接会場へ	無料
イベント				
百合が原音楽祭	7月1日(土)11:00～(予備日7月2日(日))		直接会場へ	無料
展示会				
さつき花季展	6月8日(木)～6月11日(日)		札幌さつき会	130円
百合が原公園緑のセンターは改修工事のため、6月19日(月)～平成30年1月下旬まで休館となります。 休館中は展示会及び緑の相談はお休みさせていただきますが、講習会・ツアー・ガイドにつきましては実施予定です。 詳しくは百合が原公園HPに掲載いたしますので、そちらでご確認ください。 なお、休館中は講習会の受付・お問い合わせの電話番号が変わります(011-772-4722)。				

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室・自然教室				
庭木の手入れ③ゴヨウマツの整枝・剪定	7月2日(日)	10:00～、13:30～	6/11(日)～	300円
秋野菜の種まきと管理	7月7日(金)	13:30～	〃	100円

その他の公園

イベント 内容	日時	備考		問い合わせ・申込み先
チューリップ・すずらんフェスタ	5月20日(土)～6月11日(日)	入園料別途	駐車料金有	滝野すずらん 丘陵公園 592-3333
春の都市緑化推進運動 入園無料日	6月25日(日)	入園料無料		
北海道フラワーソン2017 博物活動センター×西岡公園はなはな調査隊	6月17日(土) 10:00～	親子で。要申込:無料		西岡公園 582-0050
ひらおか春のカエルツアー	6月17日(土) 10:00～	直接会場へ:100円		
ひらおか春の湿生植物観察ツアー	6月18日(日) 10:00～	直接会場へ:100円		平岡公園 881-7924
札幌まつり	6月14日(水)～6月16日(金)	直接会場へ		
第11回かもくま祭	7月2日(日)	直接会場へ・一部有料		中島公園 511-3924
サケのいない時期のサケ教室	6月24日(土), 7月2日・9日(日) いずれも 13:30～	直接会場へ:無料		さけ科学館 582-7555
大通公園バラフェスタ	6月24日(土)～6月25日(日)		大通公園	251-0438
花フェスタ2017	6月24日(土)～7月2日(日)	直接会場へ	花フェスタ実行委員会	210-5735
さっぽろ花とみどりのネットワーク研修見学会 旭川北彩都ガーデンと夏の北邦野草園の見学	7月6日(木)8:15～	要申込:7,480円	ネットワーク事務局	251-3309